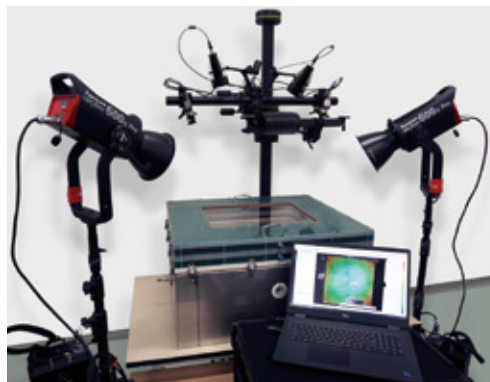




高性能半導体の受託計測サービスを拡充

2025年1月、高性能半導体向けの受託計測サービス(熱変形計測サービス・熱画像解析サービス)を拡充しました。生成AI用サーバーや自動運転を支える半導体や実装基板は、微小化・高密度化・多層化に加え、これらが搭載される電子機器の高精度化・高速処理により発熱量が増加しています。そのため、開発・設計段階において温度変化による影響を把握し、発熱抑制や放熱促進などの熱対策を行うことが重要となっています。こうした需要にお応えするため、半導体パッケージや実装基板の反り変形を可視化できる「熱変形計測サービス」において温度範囲の高温側を拡大し-40 ~+260℃に対応、さらに大型基板サイズに対応しました。また、恒温環境下で高速・高精度の熱画像解析が可能な「熱画像解析サービス」を開始しました。今後も先端技術分野における「熱」の技術課題解決に貢献してまいります。



熱変形計測システム

恒温環境下における試験サンプルの反り変形を可視化

東京で個人投資家向け会社説明会を実施

2025年3月、東京都中央区で日本証券新聞社主催の個人投資家向けIRセミナーに参加し、135名のみなさまにお越しいただきました。社長の荒田より、競争優位性や株主還元などについて説明したほか、株式評論家の櫻井英明氏とのQ&Aセッションを行いました。



▲
当日の動画を
ご覧いただけます

経産省「全国みどりの工場大賞」において 「経済産業大臣賞」を受賞

2024年12月、神戸R&Dセンターが2024年度緑化優良工場等表彰制度(全国みどりの工場大賞)におきまして「経済産業大臣賞」を受賞しました。



エスペックミックが2025大阪・関西万博に協力

在来種を活かした「森づくり」「水辺づくり」や、植物工場、アクアポニックス（水耕栽培と陸上養殖を組み合わせた循環型生産システム）を手掛けるエスペックミック株式会社が、2025大阪・関西万博の展示に協力しました。

「大屋根リング」「静けさの森」など会場各所に植物を植栽したマットや苗を提供

会場のシンボルである「大屋根リング」には日本の在来種であるチガヤを植栽したマットやススキの苗を、「静けさの森」には野草や池の水際を縁取る水生植物を提供しました。EXPOナショナルデーホールやハンガリー館、クウェート館、シグネチャーパビリオンなどにも植物を提供しています。



大屋根リング



静けさの森

「大阪ヘルスケアパビリオン」アクアポニックス展示に協力

「大阪ヘルスケアパビリオン」では、アクアポニックス展示共同企業体として大阪公立大学植物工場研究センターと連携し、アクアポニックス「いのちの湧水（いずみ）」の展示に協力しました。アクアポニックスは、水槽で魚を養殖し、その排泄物を微生物が分解してできた養分で植物を栽培する循環型生産システムです。装置の下部に4つの水槽を配置し、上部に3層の水耕栽培棚を設け、耐塩性植物（海藻など）や準耐塩性植物（ミニトマトなど）、機能性野菜（レタスやハーブなど）、食用の花（エディブルフラワー）を栽培しています。



アクアポニックス「いのちの湧水（いずみ）」

— エスペックグループは、大阪・関西万博を応援しています —